

おわりに

2013年8月に「東日本大震災の記録や教訓を保存し伝えていくための普及指導員へのアンケート」を実施し、2015年8月～9月に岩手県、宮城県、福島県において聞き取り調査を実施することができました。聞き取り調査では、アンケートで明らかになった重点項目についての掘り下げ、肉付け、裏づけを行うことを目的としました。

聞き取り調査では多様な環境におかれた普及指導員から多様な話を聞くことができました。すべてが後世に残したい貴重なものであり、これを「大震災後の混乱の中で活動した普及指導員の証言」として位置づけ、次世代に残すという方向で取りまとめました。本報告書の「Ⅱ被災地担当普及指導員の証言」はボイスレコーダとメモによって得られた膨大なデータを、すべてエクセルファイルの行ごとに入力して、類似したものの比較や並び換えを行って取りまとめたものです。

アンケートと聞き取り調査という2つの調査で取りまとめた東日本大震災後の普及指導員の活動記録や教訓は全体の一部かも知れませんが、両調査結果とも冊子として残すことができました。この記録や教訓が語り継がれ、幅広く共有されることで未来へ向かう力となるよう願ってやみません。

震災アーカイブ特別委員会委員長
粕谷和夫